

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	02080122	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	国民健康保険疾病予防事業	担当部署名	住民課			
		作成責任者職氏名	池西 昌夫	内線	310	
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	02健康・福祉	08医療費の適正化	01健康管理対策の充実			
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	村国民健康保険条例第8条		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>健康の保持増進と疾病の予防、早期発見、治療の推進を図る。</p> <p>②内容</p> <p>契約医療機において総合健康診断(人間ドック・脳ドック)を実施。 受診した場合、受診料の7割を保険者が負担する。</p>	<p>30歳以上の被保険者(脳ドック40歳以上)</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>健康の保持増進と疾病の予防、早期発見、治療の推進を図り、医療費の減少に貢献する。</p>	

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	2,759	2,852	3,240	3,552	3,552			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	2,759	2,852	3,240	3,552	3,552			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	1,767	1,767	1,767	1,767		
総コスト費(千円)(A+C)	4,423	4,619	5,007	5,319	5,319			
人口あたりコスト(円)	718	749	812	863	863			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	受診人数	人	78	89	114%	94	94
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 114% / 1 = 114% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	国民健康保険被保険者に対し、健康の保持、疾病の早期発見に貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	国民健康保険被保険者に対し、総合健康診断を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療に効果を期待しているが、医療費は年々増加している。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	村が契約した近隣の総合病院で受診することができ、効率は良い。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	総合健康診断の検査費用に対し、助成を行っている。国民健康保険被保険者については、公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	15 / 16	94%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
114%	94%	104%	a
a:90%以上(現状維持又は拡充) d:30~49%(休止・廃止又は縮小) b:70~89%(見直し又は現状維持) e:30%未満(休止・廃止) c:50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
平成24年度より、若年検診の創設、総合健康診断の受診者負担額の軽減を行なった。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
住民の健康保持増進のため、また疾病予防のためにも必要であるとする。	B A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
住民の健康保持増進のため、また疾病予防のためにも必要であるとする。	B A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止